

令和4年8月18日

所 属 歴史博物館

所属長 伊元 俊幸

電 話 06-6492-1777

20年ぶり！田能資料館の復元「高床倉庫」を建て替えています

田能資料館では昭和45年の開館以来、弥生時代の高床倉庫や竪穴住居などの復元住居3棟を展示しています。なかでも、「ねずみ返し」を備えた高床倉庫は見学に来た小学生などにも人気ですが、老朽化のため昨年度から立入禁止となっています。

現在、この阪神間でも珍しい実物大の復元高床倉庫を20年振りに全面的に建て替えています。復元とは言え、弥生時代の建物が現代の人の手によって組み上げられていく様は、シンプルであるが故に弥生時代の人々が建築する様子を見ているようです。是非とも、貴重な高床倉庫の復元工事の様子を見学しにお越しください。（工事は年内に完成予定です。）

※工事の進捗状況は、田能資料館公式ツイッター(@tanosiryokan)でも発信中です。



7月から工事が始まりました。

【工事の見どころ】

① 高床倉庫の建築過程

柱穴を掘る→掘立柱を立てる→壁（校倉造り）を組み上げる→屋根を葺く

② 厳選された材木と大工の手作業による加工

現在ではほとんど使われなくなった板材の表面を整える手斧（ちょうな）など、棟梁が大切に引き継いだ大工道具による加工にも挑戦されています。

丁寧に加工された木材は、柱穴を掘ることから始まり、柱を立てて地面に埋めて固定します。8月中旬からは、正倉院にみられる木材を交差させて組み上げる「校倉づくり」と呼ばれる工法で壁を仕上げていきます。



手斧での板材表面の加工



ノミで加工された板材の仕口

③ 撤去した屋根を間近に見学

撤去した高床倉庫の屋根のカヤを一部外して屋根の構造を見学できます。



撤去した古い屋根の構造を間近に見学できます。

【連絡先】

〒661-0951 尼崎市田能 6-5-1 電話 06-6492-1777

開館時間午前 10 時から午後 5 時まで（入館は午後 4 時 30 分まで）

月曜日休館（但し、月曜日が祝休日の場合は開館し、その直後の平日を休館）

尼崎市教育委員会事務局 社会教育部 歴史博物館 田能遺跡担当

担当：酒井 隆文

以 上